# 令和６年度決算財務書類を一般家庭に置き換えると ～年収500万円で総資産（貯金や現金等）が2,000万円の場合～

## 資産と負債の状況！

湯梨浜町の資産と負債の状況を一般家庭に置き換えてみましょう！
一般家庭における資産とは、マイホームや車（有形固定資産）などのことを指します。
また、新NISAへの積立や銀行に預けている現金（投資その他の資産）なども資産に該当します。
負債については、マイホームを購入するためのローンなどが該当します。
今回は、湯梨浜町の資産と負債の状況を「**総資産2,000万円**」の一般家庭に置き換えました。

### 借方

所有している建物、車等の資産
（有形固定資産等）
**約1,553万円（+0万円）**

有価証券や定期預金等の資産
（投資その他の資産）
**約229万円（+16万円）**

現金や普通貯金等の資産
（流動資産）
**約218万円（-16万円）**

**総資産＝2,000万円**

### 貸方

住宅ローンなど、今後返済する必要がある借金等
（固定負債、流動負債）
**約764万円（-5万円）**

建物等の購入ですでに支払ったお金等
（純資産）
**約1,236万円（+5万円）**

**負債+純資産＝2,000万円**

（前年度からの変動額）

## 資産のうち貯金の動き！

| 前年度残高 | | 貯金した額 | | 引出した額 | | 貯金残高 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 310万円 | + | 17万円 | - | 24万円 | = | 303万円 |

令和６年度は貯金した額よりも引出した額のほうが大きかったため残高は減少しています。

## 負債のうち借金の動き！

| 前年度残高 | | 借入した額 | | 返済した額 | | 借金残高 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 642万円 | + | 71万円 | - | 64万円 | = | 649万円 |

令和６年度は返済した額よりも借入した額のほうが大きかったため残高は増加しています。

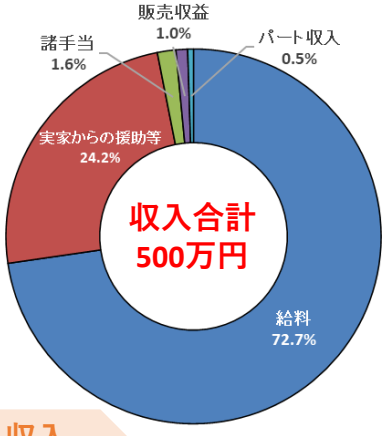
令和６年度末で、総資産2,000万円に対してすでに支払いが完了したのが1,236万円となっており、残り764万円は支払が残っている状況にあります。

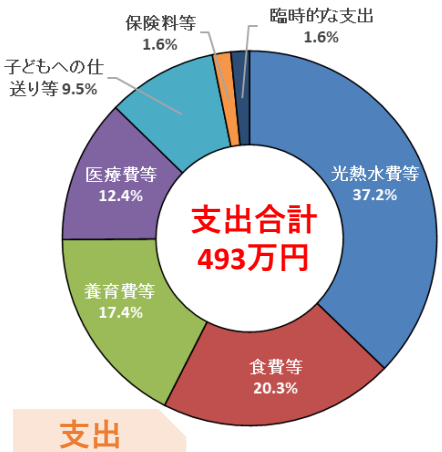
貯金については、引出しを行った事で昨年度よりも残高が減少しています。

負債については、前年度から5万円減少していますが、負債のうち、住宅ローンなどにあたる借金については新たな借入を行った事で残高が増加しています。

## 年間収支の状況！

湯梨浜町の年間収支の状況を一般家庭に置き換えてみましょう！
今回は、湯梨浜町の年間収支の状況を「**年収500万円**」の一般家庭に置き換えました。




### 収入

| 家計の項目 | 収入額 | 構成比率 |
|---|---|---|
| 給料 | 363万円（-7万円） | 72.7% |
| 実家からの援助等 | 121万円（+6万円） | 24.2% |
| 諸手当 | 8万円（+0万円） | 1.6% |
| 副業収入 | 5万円（-1万円） | 1.0% |
| 臨時的な収入 | 3万円（+1万円） | 0.5% |
| 収入合計 | 500万円 | 100% |

（前年度からの変動額）

| 収支 | 7万円の黒字 |
|---|---|

### 支出

| 家計の項目 | 収入額 | 構成比率 |
|---|---|---|
| 光熱水費等 | 183万円（+11万円） | 37.2% |
| 食費等 | 100万円（+6万円） | 20.3% |
| 養育費等 | 86万円（+2万円） | 17.4% |
| 医療費等 | 61万円（-3万円） | 12.4% |
| 子供への仕送り | 47万円（-4万円） | 9.5% |
| 保険料等 | 8万円（+0万円） | 1.6% |
| 臨時的な支出 | 8万円（+5万円） | 1.6% |
| 支出合計 | 493万円 | 100% |

一般家庭に置き換えてみてみると、前年度から「光熱水費」の支出が年間で11万円増加している事が分かります。
これは、物価高騰などにより、電気代や水道代が高くなった影響があります。

「光熱水費」や「食費等」が増加したため、「医療費等」や「子供への仕送り」の支出が昨年度よりも減少しています。

令和６年度は7万円の黒字となりましたが、物価高騰や人件費の高騰などが続くと考えられるため、支出の内容について検討をしていく必要があります。